

しばた 新発田市中心市街地地区

(新潟県新発田市)

計画期間 平成25年度～29年度
面積 250ha
交付対象事業費 5,742百万円
市人口 99,222人(地区内人口 15,151人)

ポイント 駅前の遊休地に、官民一体となって複合施設を建設し、互いの機能を有機的につなぐことで、中心市街地を魅力ある環境に変え、賑わいあふれるまちづくりを目指している。

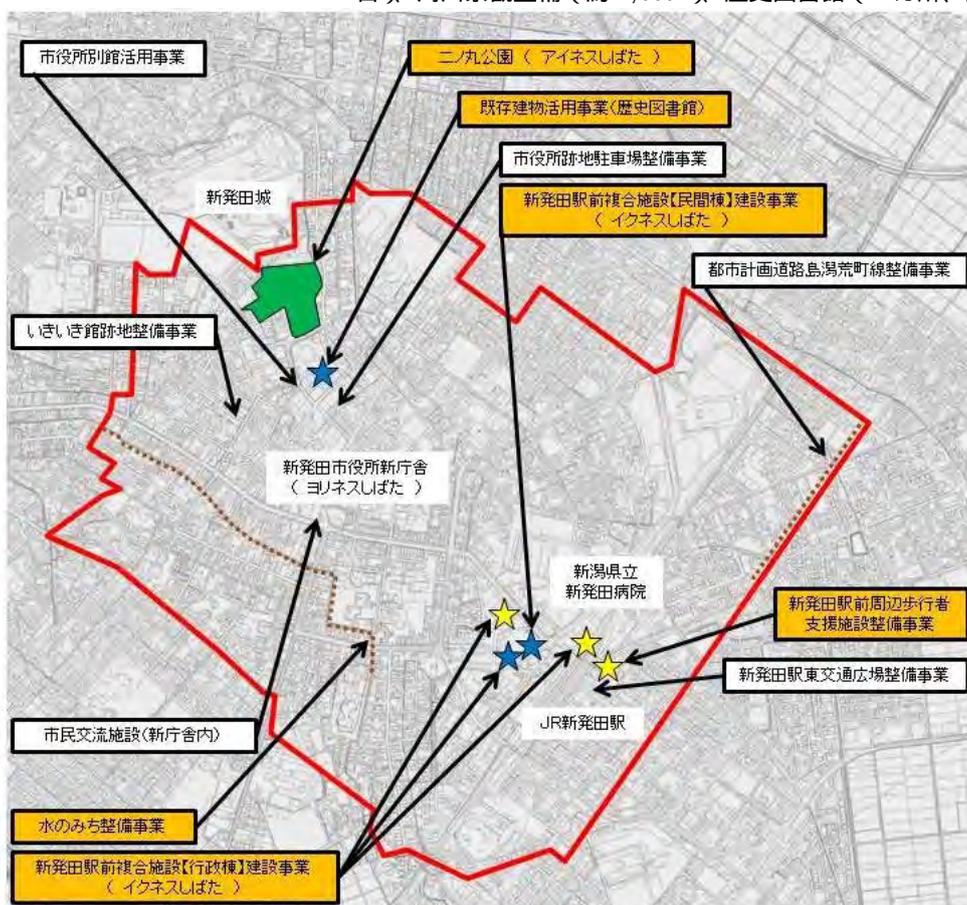
地区概要 市中心部に位置し、新発田城、市庁舎、県立病院、JR新発田駅等の拠点施設が多く立地する。また、駅前から続く商店街や城下町当時の面影を残す町並みがある地区である。

目標 人が行き交い、賑わいあふれるまちづくり

指標 目標である「人が行き交い、賑わいあふれるまちづくり」を表す数値を指標とした。

居住者の減少率	▲3.80% (H24) →	0% (H29)
通行量	4,623人 (H24) →	7,306人 (H29)
観光入込客数	77,400人 (H24) →	94,000人 (H29)
空き店舗率	28% (H24) →	22% (H29)

事業内容 基幹事業(5,742百万円) 複合施設(2棟、約10,000㎡) 複合施設駐車場(3カ所、約200台) 公園(1カ所、約10,000㎡) 駅周辺歩行者支援施設(1カ所、約4,000㎡) 駅駐車場(1カ所、約10台) 駅駐輪場(1カ所、約350台) 河川景観整備(約1,000m) 歴史図書館(1カ所、約2,000㎡)



地区の現況と課題

新潟県北部地域の中心として発展してきたが、近年は魅力的な機能が郊外に向き、中心市街地にかつてのような求心力は無い。計画期間前の空き店舗率は 28%、居住人口は 20 年間で 20%減少している。

基幹事業の特徴

新発田駅前複合施設（イクネスしばた）

図書館、プレイルーム、こどもセンター、キッチンスタジオ、音楽練習室それぞれが機能融合した行政棟を建設した。

隣接地に民間事業者による商業施設、医療施設、観光案内所と学生寮が入る民間棟を建設した。

二ノ丸公園（アイネスしばた）・歴史図書館

城南の遊休地に、防災機能を有する市民が憩う公園を整備し、駅から公園までの動線に、歴史・文化拠点として歴史図書館を配して、市民はもとより来訪者が新発田の歴史に触れる機会の増加を図った。

計画策定プロセス

議会への請願

計画の立案のきっかけは、NPO団体の活動や議会への請願で、当初は、これらの内容から目標や整備方針を策定した。

地方都市リノベーション事業の採択からの移行

当初は地方都市リノベーション事業での採択であったが、より高度なまちづくりを進めるため、立地適正化計画を平成 28 年度に策定することとし、本事業に移行した。

二階堂市長のコメント

「まちの顔づくり」による賑わい創造やまちづくりプロセスが評価され、大変うれしく思っている。

今後、これらの持つ機能を最大限に活用し、官と民と学の連携によるまちづくりをより一層深めていきたい。

駅前複合施設民間棟運営者のコメント

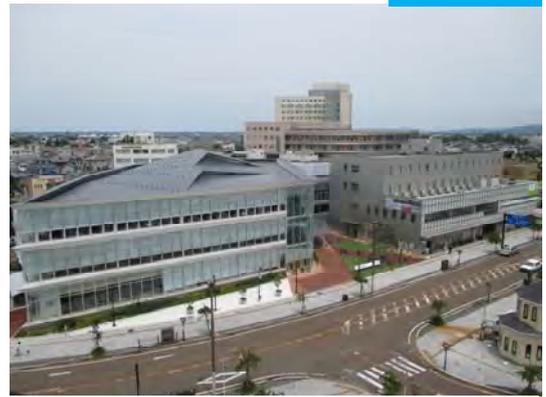
計画の立案の段階から市議会に請願を提出するなど、まちづくりに関わってきた。駅前複合施設の整備にあたっては、行政・大学と連携しながら、賑わいの創出を目指して民間棟を建設した。

これからも官民一体となって、まちなかへの若者の定住に向けたまちづくりに努めていきたい。

敬和学園大学学長のコメント

民間会社・市・大学の産官学の連携で、行政棟と民間棟（3・4階学生寮）の複合施設ができて大変うれしい。

学生たちが街中で暮らし、さまざまなアクティブ・ラーニングを展開して活気を与え、人々と交流を通して地域社会で学びを深めて、地域社会に貢献する人に育っていくことを願っている。



新発田駅前複合施設（イクネスしばた）

左：行政棟、右：民間棟



新発田駅前複合施設（イクネスしばた）

行政棟の図書館



二ノ丸公園（アイネスしばた）



新庁舎（ヨリネスしばた）の市民交流施設

【関連事業】